

2013年6月17日

渋谷駅地区 道玄坂街区における都市計画の決定について

東急不動産株式会社

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：金指潔）は、道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発準備組合（以下、「道玄坂準備組合」という。）に地権者及び事業協力者として参画し、道玄坂準備組合の地権者と共に、東急プラザ渋谷及び隣接する街区における一体的な再開発の検討を進めて参りました。道玄坂準備組合が2013年1月23日に都市再生特別措置法に基づく都市再生特別地区の都市計画提案を東京都知事に対して行っておりましたが、本日、東京都において都市計画決定がなされましたのでお知らせいたします。

当街区は、本決定をもって開発の計画段階から、具体化の段階に移行してまいります。

当街区は渋谷駅西口の玄関口としての再生が期待されており、2018年度の開業に向けて、高層部にハイグレードオフィス、中低層部には世界から集客し街の賑わいに貢献する商業施設を計画しております。

1階の一部に空港リムジンバスの発着場を含むバスターミナルを導入して、渋谷駅街区土地区画整理事業及び渋谷駅地区 駅街区（ ）と一体的な交通広場の再編を行うと共に、渋谷駅から渋谷中央街等の西側の街や桜丘等の南側の街へとつながる地上部のネットワークや歩行者デッキの整備を行います。また、クリエイティブ・コンテンツ産業や外国系企業等を対象とした産業進出支援施設や、国内外の来街者を対象とした観光支援施設等の整備を行い、産業や都市型観光の拠点としての機能を高めることで、街の国際競争力を強化します。

当街区は、渋谷駅周辺地区における都市再生の一翼を担うプロジェクトとなると共に、世界中から常に注目を集めて人を惹き付けるエンターテインメント性あふれる街の実現に貢献します。地域が抱える課題の解決に取り組み、魅力ある渋谷のまちづくりを進めることで、東京そして日本の活性化を目指してまいります。

本計画は、近接街区である「渋谷駅地区 駅街区」と一体となった計画となっております。

本開発計画の概要は別紙の通りです。

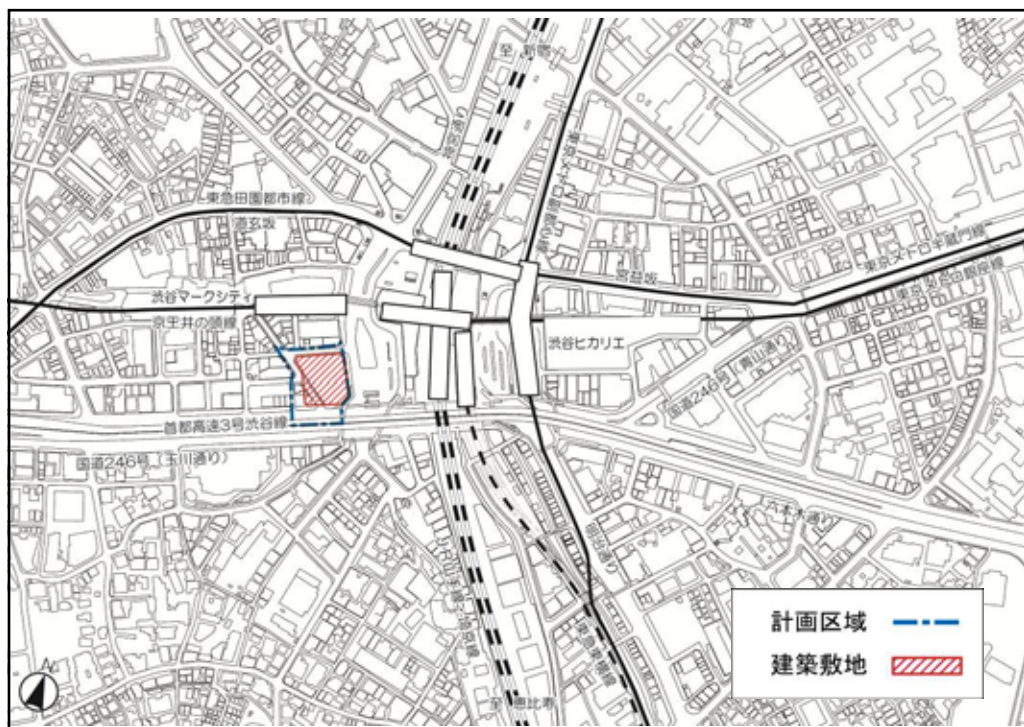
以上

(別紙)

計画建物の概要

| | |
|------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発準備組合 |
| 所在地 | 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番地・8番地 |
| 用途 | 店舗、事務所、駐車場等 |
| 敷地面積 | 約 3,330㎡ |
| 延床面積 | 約59,000㎡ |
| 階数 | 地上17階、地下5階 |
| 高さ | 約120m |
| 設計者 | 基本設計：株式会社日建設計 デザインアーキテクト：手塚建築研究所 |
| 予定工期 | 2015年度～2018年度 |
| 開業予定 | 2018年度 |

計画地



計画建物イメージパース

・原宿方面より



・渋谷駅西口交通広場より



渋谷駅西口交通広場の再編と快適な歩行者ネットワークの整備

渋谷駅西口の玄関口として、渋谷駅から西側の街(渋谷中央街等)へ、安全・幅広・まっすぐな地上部のアクセスを可能とするほか、当街区と駅施設とをつなぐ歩行者デッキを整備することで、桜丘方面を含めた西側の街へ立体的な回遊動線を形成します。

渋谷駅西口交通広場のイメージ(西口交通広場より道玄坂街区方面をのぞむ)



1階バスターミナルとアーバン・コアの整備

計画建物1階に、国際空港へのダイレクトアクセスを可能にする空港リムジンバス発着場を含むバスターミナルと共に、国内外の来街者をターゲットとした観光支援施設を整備して都市型観光拠点としての機能を高めます。また、地上部とデッキレベルの歩行者動線をつなぐ縦動線アーバン・コアを整備することで周辺の街へ回遊を促し、街の賑わい創出に貢献します。

1階バスターミナル及びアーバン・コアのイメージ(北東からのぞむ)



地域荷捌き施設と周辺区道の歩行者優先道路の整備

地域の課題となっている路上荷捌きの改善を目的として、計画建物地下に地域のための共同荷捌き施設を整備すると共に、地域の回遊・賑わいの中心であるプラザ通りや中央通りの一部を歩行者優先の歩きやすい環境に再整備することで、渋谷中央街等の賑わいに貢献します。

歩行者優先道路のイメージ(中央通り・プラザ通り交差点から渋谷駅方向をのぞむ)



外国企業等を誘引する屋上広場と一体的な産業進出支援施設の整備

計画建物には、クリエイティブ・コンテンツ産業等の起業家や日本に進出する外国企業等を対象とした小規模オフィスのほか、知的創造性を刺激する緑豊かな屋上庭園と飲食店舗を併設した産業進出支援施設を整備します。

屋上階のイメージ

